

防災・減災の輪

かがわ自主ぼう連絡協議会
会報 第 202 号 (2023. 12. 1)
事務局 川西地区自主防災会

人が支える防災・減災活動

国分寺北部校区コミュニティ協議会
事務局次長 三谷 美奈子

1 はじめに

国分寺町は、高松市の西の玄関として JR 端岡駅と国分駅の 2 駅を備えており、南北に長い盆地状の町で、なだらかな丘陵地に囲まれた町域には、関ノ池、橘池を始めとする大小のため池が点在し、水と緑の田園風景が広がっています。

町の中央部に広がる海拔 20~40m の低地は、本津川が形成した沖積低地で、本津川とその支流は治水や利水面ばかりでなく、地域の人々の暮らしと深くかかわり合ってきました。

災害が少ないと言われている国分寺北部校区でも平成 16 年台風 23 号では、本津川沿岸での大規模な浸水のほか、その支川である新居の坂川、国分の関ノ池に注ぐ野間川などの小河川や用水路、一部のため池からの越流による浸水も見られたほか、満水となった用水路では排水が不良となり水田や畑を雨水が満たし冠水しました。また山地では小規模な土砂崩れが発生しました。土地条件図（国土地理院 1986）に見られる山麓沿いの小規模な扇状地は、かつての土石流の堆積物の可能性があり、今後も同様の豪雨に見舞われた場合は、町内の山地に見られた急傾斜地は斜面崩壊の危険性があると考えられています。



総合センター駐車場



万灯橋高欄の流木等の痕跡



野間川 橋に流木等が掛り
越水して住宅地に浸水



野間川越水により右岸堤防
の洗堀

台風第 23 号は 10 月 19 日 20 日の 2 日間、国分寺観測所（学校橋）で 293mm（最大時間雨量 43mm）に及び、国分寺町内の被害状況は、人的被害軽症 3 人、住家被害一部損壊 5 棟、床上浸水 355 棟、床下浸水 583 棟、公共土木災害等 23 箇所、農林土木災害等 400 箇所となりました。

2 国分寺北部校区自主防災組織連絡協議会の活動

平成 20 年 9 月 27 日に発足した国分寺北部校区自主防災組織連絡協議会は岡内 尊重会長のもと少人数ながら地域防災・減災について熱心に活動し始め、単位自治会へ自主防災組織結成に向けてのアプローチを行い始めました。5 年間で、約 190 自治会のうち 30 自治会が自主防災組織を結成しましたが、思い通りには結成率が上がらないため、平成 25 年より国分寺北部校区コミュニティ協議会と協働し事業を推進することになりました。以降、岡重範会長のもと年 4 回の防災研修会や防災訓練を実施するなど粘り強い活動を行った結果、92 自治会で自主防災組織が結成され組織率 64%まで上がり、残りの 36%と自治会未加入者を含めた住民については、国分寺北部校区を 5 ブロックに細分化しブロック毎に自主防災組織を結成しカバー率 100%を達成しました。

現在は阿部孝雄会長のもと「国分寺北部校区からは災害時の犠牲者は出さない」を合言葉に 20 人のメンバーが活動しています。

3 地区防災計画について

① 地域防災マップ作成

【防災・減災教育支援に関する協定】

ため池防災ハザードマップ等に基づき、防災・減災学習と訓練を通して確かな知識を持ち的確な判断ができる人材の育成と、防災力を高める地域づくりの推進活動に関して基本事項を定め、災害に強い安全安心な地域づくりに向け、体制の構築を図ることを目的として平成 27 年度、高松市国分寺北部校区コミュニティ協議会と香川県防災士会は、地域防災力を高めるための防災・減災教育支援に関する協定を締結しました。

【まち歩き】

ブロック毎に説明会（まち歩き実施について協力依頼）を開催したのち、香川県防災士会東讃支部長 林 宏年氏をお迎えし、DIG 災害図上訓練を行いました。DIG の結果を踏まえてまち歩きを実施し、結果を GIS（地理情報システム）にまとめました。



【一時避難場所選定・協定】

巨大地震が発生した、又は発生するおそれがある場合における緊急避難施設としての使用に関して、ビルやマンションの共有スペースや駐車場等と 22 箇所を協定を締結しました。

選定については、災害に対する安全性（浸水実績・外水災害・土砂災害・地震災害（耐震性）・地震（斜面崩壊）・ため池決壊・避難ルート上の危険箇所の 7 項目を評価しています。

【一時避難場所看板設置】

協定した箇所に自主防災組織連絡協議会役員で看板を設置しました。



【地域防災マップ発行】

平成 29 年 3 月に約 5,400 世帯に全戸配布しました。

現在、香川県公表の 1, 000 年に 1 回の確率で発生する降雨による本津川浸水想定区域図や、高松市公表の防災重点ため池の浸水想定区域図等を踏まえた改訂版地域防災マップを作成しており、令和 6 年 3 月に再度全戸配布する予定になっています。



① 国分寺北部校区コミュニティ継続計画作成

香川県防災士会及び香川大学工学部野々村研究室のご指導のもと平成 31 年度に作成し高松市危機管理課へ提出しました。

平常・災害時の対応や、要配慮者等への支援、地域の特性と予想される災害、地域の防災対策（具体的な対策）、避難所管理・運営等記しているほか、高松市内でも数か所しか設置していない非常用貯水槽（飲料水 60 t）が高松市立国分寺北部小学校運動場内に設置していることも記しています。

また、資料編では、コミュニティ協議会協定の一時避難場所評価や、地区(字)別自然災害等の特性評価、地域の危険な場所のチェックリストもまとめています。

② 避難所運営マニュアル作成

校区内にある指定避難所 6 箇所のうち北部小学校及び青年センターの 2 箇所について平成 31 年より作成し始め、管理者と協議しながら完成しました。また、国分寺北部小学校と国分寺北部コミュニティセンターが連携した避難所運営マニュアルを作成したほか、平成 2 年度は新型コロナウイルスに対応した改訂版を作成しました。



4 避難・防災訓練について

毎年自治会・一般・小学校・幼稚園・保育所へ働きかけ避難・防災訓練を実施しています。

避難訓練は、それぞれのブロックで選定している一時避難場所で安否確認を行ったのち、危険箇所を確認しながら国分寺北部小学校へ移動します。

防災訓練では、地元企業朝日段ボール様のご協力のもと避難所運営に欠かせないものとして、段ボール製の簡易間仕切りやベッド、トイレなどを無償で提供いただき、社員皆様のご指導をいただき組み立て訓練を行っています。また、(株)西村ジョイ様には、2 t トラックいっぱいにも積まれた防災グッズを図工室や中庭に展示しており、車中泊用のグッズなどもあり毎年大好評のブースになっています。

消防局、消防団による AED 訓練や、起震車体験、水消火訓練、応急手当訓練、自主防災会では簡易担架訓練等多くの訓練メニューがあり 600 人以上の参加者で会場は熱気に包まれます。



【簡易間仕切り訓練】
株朝日段ボール社員の説明を聞く参加者



【防災グッズ展示】株西村ジョイ社員の説明を熱心に聞く参加者



【応急手当訓練】参加者同士で手当や簡易担架を作って搬送します



左の写真は
【警察車輛展示】

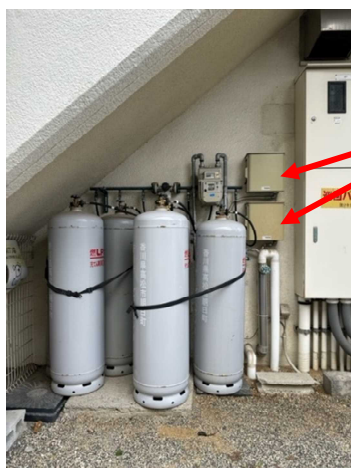


右の写真は
【消防団による
操法訓練披露】

5 国分寺北部校区コミュニティ協議会の備え

国分寺北部校区は住民から会費を徴収していないため、防災についての予算が少ない状況で活動を行っています。そのため、助成金をうまく調達しながら活動しています。

- 自主防災組織育成助成事業 H27（プロパン用発電機・避難所用マット等）
- 香川県自主防災組織広域化促進事業 H28（事務局用 PC・GIS 地図情報）
- 高松市ゆめづくり推進事業 H28（防災マップ作成・発行）
- 自主防災組織機能強化事業 H30（無線固定局・携帯無線）
- 香川県自主防災活動活性化促進事業補助金 R3（コミュニティ継続計画作成）
- コミュニティ助成事業 R4（プロパン用発電機・携帯無線・照明等）



コミュニティセンターと防災倉庫に設置したプロパン発電機用のホースを収納しているボックスです。

災害時に備えコミュニティセンターにはプロパン 50 kg×5 本、防災倉庫にはプロパン 50 kg×4 本設置しており、炊き出し用のガスや発電機による電源を確保しています。

6 国分寺北部校区現在の動き

自主防災組織連絡協議会役員が毎月第 1 月曜日午後 7 時より定例会を開催しており、現在は改訂版防災マップ発行のため一時避難場所選定作業を行っているほか、12 月 2 日（土）は避難・防災訓練を開催しました。

人が支える防災・減災活動

住民や企業、行政を含め多くの方の協力をいただき、今後も活動を行っていきたく思いますので引き続きご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



写真は今年の防災訓練準備時

事務局だより

令和5年 12月

今月は岩崎会長の直近の活動を紹介します。

防災活動も連続して大変な日々が続きました

防災活動も連続して大変な日々が続きましたが、特に11月中旬から紹介します。

12日(日) 県自主防災組織リーダー研修会

13日(月) 綾歌郡神社総代会県外研修(団長として参加)

14日(火) 三豊市立仁尾小学校防災研修

15日(水) フジ丸亀店営業中防災訓練

16日(木) 鹿児島県さつま町にて国交省川内河川事務所、
さつま町職員及び地域の自治会関係者

17日(金) 会長、自主防災関係者との防災研修と意見交換会

18日(土) 高松サンポートにおいて、防災関係者、ボランティア団体による「防災イベント」悪天候の中、
カレーライスによるたき出し活動

19日(日) 地元川西町「森の再生」現場にて作業

20日(月) 午前中、三豊市三野町せとうち福祉サービス(株)へ訓練の打合せと、避難行動が県道を横断するので三豊警察署へ説明。午後川西コミュニティセンターにて第5回県民防災対策促進イベント実施に伴う打合せ、県危機管理課の皆さんと。
その後、赤い羽根共同募金活動。

21日(火) 丸亀市連合自治会会長研修、団長として参加(バス片道7時間)
愛知県瀬戸市へ研修 豊田市にて宿泊

22日(水) 午前8時30分、研修参加者と別れて、名古屋から新幹線利用して一路高松へ。
午後2時から県庁21F特別会議室にて「人生100年時代のフロンティア県・香川」実現計画推進懇談会に出席。



鹿児島県さつま町における研修、7年前にも訪問して研修を行ない、このたび2回目役員の半数は顔なじみの方、しかし、今回の研修は参加者の皆さんの意気込みが素晴らしく、2時間45分の研修会があつという間に終わったような気持ちになりました。

来年の3月までに8回ほどの講演と研修が入っており、資料作りが大変ですが体調維持に万全を配して頑張る所存です。

岩崎正朔
以上

編集後記

12月の防災減災の輪は、国分寺北部校区コミュニティ協議会 事務局次長 三谷様の原稿を掲載させていただきました。ありがとうございました。